

今市地区まちづくり懇話会 “いまいち茶論”

日 時：令和元年6月22日（土）10:00～

場 所：日光市役所本庁舎

テーマ：市長講話に基づく意見交換

次 第：1 開会

2 日光市の歌（斉唱）

3 市長講話

4 意見交換

5 その他

6 閉会

〈意見交換内容〉

参加者 簡単な提案を含めて、お願いというかたちでしたいと思います。先ほど市長のほうから補助金の整理・統合ということでお話がありました。私たちとすれば、整理・統合ではなくて、有効に活用したいという意向があります。その中で、特に自治会に関する市の補助金が多くあります。例えば、まちづくり補助金とか自主防災、緑化とか公民館とか、数々の補助金があります。これらの説明は、自治会長に文書で来るのですが、できれば全体的なものをわかりやすくコンパクトにまとめていただいて配っていただくと、自治会長は補助金の内容を理解しやすくなるのではないかとということで、これはお願いになります。

もう1点につきましては、日光市の計画あるいは実施される予定の国・県・民間の大きなプロジェクト等についてです。先ほど市長から日光医療センターの話や、ショッピングプラザの話がありましたが、そういう民間のプロジェクト等は新聞報道で若干わかるのですが、市の計画等については、なかなか自治会長同士の中で、情報が得にくい、分かりにくいことがあります。できればタイミングを見計らっていただいて、何らかのかたちで簡単な情報提供をしていただければ、ありがたいです。今日は市長のほうから、たまたま話がありましたが、そのようなかたちで気を遣っていただければ、私たちが情報を得れば、市民に対して、ある程度説明ができます。よろしくお願いします。

地域振興部長 2点ほどお話がありましたが、1点目の補助金の関係です。確かに自治会長を窓口として実施、展開することになる補助金というのは、地域振興部以外にも様々な部署に亘っていますので、新しく自治会長になられた方については、非常に要領を得ない部分があるかと思います。また、制度の制定時期的なこともあります。

その中で、自治会長向けとしまして、自治会活動のガイドブックや、お役立ち情報という、補助金など市の制度をまとめて冊子化している資料があります。こちらは総会のとことや、新しい自治会長にお配りしているのですが、資料自体ボリュームがあるので、それを端から端まで見て理解するというのは、なかなか難しいところがあるかなと思います。総会などでご説明しているところもあるのですが、難しいという部分はおっしゃるとおりだと思いますので、その辺はコンパクトに1枚ですべてわかるのが一番いいのかもしれませんが、そこまでいかなくても、簡単に理解しやすいような資料ができればいいかなと思いますので、検討させていただきます。

2点目ですが、私どものほうで言うと、自治会長や組織に対しての情報提供や情報共有という部分になると思います。各地域・地区の総会で、市の事業に関するもので、特に新しい取り組みや次年度の予算に関するものに

については、なるべく情報提供させていただくようなことを心掛けてはいるのですが、今の内容ですと、報道が出てから“そんなことがあるのだ”と知るという状況が生じているのだと思います。私どもからすると、リアルタイムで情報を提供できる場面に、どういうものがあるのか、この場ではすぐ思いつきませんが、その辺を念頭に置いて検討させていただきたいと思います。

副市長 自治会長会の研修のときに、タイムリーな情報を合わせて提供できるのかなと思っています。マスコミのほうで情報のキャッチが早かったりして、我々行政の把握が遅く、議会のほうからお叱りを受けたりすることもあります。どんなものが知りたいのかということもあると思いますので、その辺は情報を整理した上で、これからはそういうことを念頭に置きながら考えたいと思います。

参加者 先ほど市長からお話がありました水車小屋の件ですが、12基が8基に改修されて、また稼働するということなのですが、それに合わせて、今、江連邸でお蕎麦屋さんをやっていますが、そういうところもPRできるようなものを整備していただければと思います。並木も含めて、いろいろな説明文が足りないかなと思っておりますので、その辺をよろしくお願いします。

建設部長 杉並木公園内には、公園内施設を案内するサイン板が6基設置してあります。その中で、トイレの位置や水車の位置がわかりにくいとか、もう少し水車のPRを行ったほうが良いなどの意見をいただいておりますので、サイン板の見直しを考えているところです。全体的なPRについても合わせて検討してまいります。

参加者 新しい大嶋市長になってから、会議の都度、日光市の歌を歌われるのは、大変いいことだと思います。自分の市の歌も知らないで会議に臨むということは、どうかと思います。私は、小学校の入学式や卒業式におじやましていますが、非常に子供たちは歌が上手いのです。頭の中に叩き込まれていて、立派な歌い方をしております。我々も真似したいなと思っておりまして、こういうことはいいことだと思っております。

今日の下野新聞に、喫煙の問題と、NPO 法人と連携しながらという記事が出ましたが、その辺を詳しくお聞きしたいと思います。もう1つはまちづくりの支援事業ですが、この中で、1自治会で補助金が得られるというのは、それを淘汰した部分では自治会以上でやらないと、補助金が得られないという部分が出てきております。自治会以上でやるということは、自治会の規模とかで苦慮しているわけなので、補助金は少なくなってもいいのかなと思いますが、1自治会でそういった補助金を得られないかなと思ひまして、検討をお願いしたいと思います。補助金制度がカットされる時代なのですが、地域のいろいろな行事に対して補助金がいただければ、いいのかなと思っております。

それと、先ほど市長のお話にあったイオンの左岸の道路ですが、大谷向も含めて瀬尾や材木町も含めて、狭いところと出した部分が、ようやく実施されるというわけなのですが、今、調査の段階ということですが、いつ頃完成するのか具体的にお聞きできればと思います。

最後に、前回のまちづくり懇話会では、あいさつの部分がテーマに出ました。それが、現時点でかなりいい方向に行っているのですが、市の職員は人によって、あいさつもないことが多々見られるわけです。その辺の指導をしっかりとしてほしいなと思います。

企画総務部長 1点目の、今日の新聞に出ていました民間企業等の活用についてですが、民間活力の活用を最大限に生かすというのが、一番の目的です。民間企業で言いますと、企業の社会的責任というのがあると、企業にとってはいろいろな実証実験をやったり、日光市と協働するということによって、当然自分のPRになったり、プラスになることが多いということがあります。日光市にとっても、やりたいと思うにも予算の関係もあって、なかなか着手できない場合に、民間側から私たちはこういう実験をやりたいと提案を受けます。

すでに1件ありましたのが、道路の看板については、日光市で管理しなくてはならないのですが、どこに何があるのか調べるのは大変なのです。そのような中、ある会社がドライブレコーダーで撮りながら、自動的にどこに何があるのか取り込めるシステムを開発しました。しかし、実際に実験する場所がない、PRするところがないと探しているときに、日光市と協力してやりませんかとなったわけです。日光市は協力をしますが、市としての支出はないということで、日光市としても助かる、企業としてもそういった実証データが取れますので、お互いのウィンウィンの関係でできました。企業だけではなくてNPO法人であったりと、そういったものをぜひ提案してくださいという提案募集を新聞に載せました。

今、ホームページなどでPRさせていただいて7月から受付をして、出てきたものについて協議をさせていただいて、これはいいというのがあれば、取り入れていこうという試みが、民間企業の活力の内容でございます。

地域振興部長 2点目のまちづくり支援事業の関係ですが、材木町自治会は6回使われたということですね。今の制度設計の中では、通算1自治会で6回限りということで、それを超える場合は、複数の自治会で連携してやっていく事業については、それ以降についても補助の対象にするという制度設計になっています。

材木町自治会のように、防災も含め積極的に取り組んで、使われている自治会もありますが、まだ1回も使われていない自治会が3割ほどあります。まずは、そういう事業に取り組めていない自治会に対して、「こういう制度があるものですから、使っていただきましょう」ということで事業の説明やPRをしているところです。

補助金の見直しの話もありましたが、一応終期というものを決めておまして、今の制度は令和2年度末で区切りとなっています。今後補助金の見直し等をやっていく中で、基本的には、なるべく補助金を縮小していきましようという方向だと思っておりますが、先ほど市長の話にもありましたように、充実させる部分も必要なところは当然あると思っております。こういう地域のコミュニティの基礎となっている自治会に対する支援策というのは、担当部署としては工夫をして、積極的な自治会に対しては使いやすい方法とか、新たな考え方を持っていきたいと思っておりますので、その辺を検討の材料にさせていただきたいと思っております。

建設部長 3点目の大谷向地区の道路改良について説明させていただきます。ご質問の道路は、大谷向、豊田、材木町、瀬尾、サンヒルズ瀬尾の5自治会からの要望により実施している事業です。現在は、全長860メートルのうち、約半分の用地測量が完了し、残り半分はほとんどが市有地であることから、今年度中に土地の境界を確定する予定です。その後は、境界が確定した部分の用地買収を行い、120メートル区間について、工事に着手する予定です。

また、工事の完成予定年度としましては、令和4年度の供用開始を目標に事業を進めているところでありますが、本事業は、国の補助金を活用しておりますので、補助金の交付額により、事業期間が延びることも懸念されます。市といたしましては早期完成を目指し進めていきたいと考えております。

企画総務部長 4点目のあいさつということなのですが、毎回よく言われる話で大変申し訳ありません。これにつきましても、市としましては、いろいろな機会をとらえて、新規採用職員をはじめ職員に対しては、あいさつは対人関係の一番の基本ですという内容で研修を行なっていますし、通知などもしているところです。中には、あいさつができていない何人かが目立ってしまうのかなと思っています。引き続きになってしまうのですが、こちらのほうでいろいろな機会をとらえて指導し、市長や副市長にもご協力いただいております。そういう機会を増やしていければと思います。

副市長 特にあいさつに関しましては、研修で教え込むものではなく、人としての礼儀ですから、そういった意味でも恥ずかしい話だと思っています。学校に行かせていただいたりしますが、この間、今市工業高等学校に行くことがあり、校門を入ったらすれ違う生徒さんがみんな大きな声であいさつをしてくれました。こちらが恥ずかしくなってしまうくらいで、学校での周知等が、しっかりなされているのかなと感じる部分もありました。我々も含めて、そういったことを心がけていきたいと思っています。

参加者 今、職員のことを挙がりましたが、20年以上市役所のほうに出入りしておりますが、素晴らしい職員の方に恵まれて、一緒に日光市を良くするためにやっているという気分で、ずっときております。本当に人によると思っております。今回の市長のお話を聞いて、やはり市にやっていただくだけではなくて、私どもが提案する、そして私どもにできることは提案させていただければならないと思っております。あいさつに関しては、私はほとんど毎日用事があって市役所に行くのですが、すれ違う職員の方にしつこいくらいあいさつをしております。私のほうからも、市役所に行ったらあいさつをしておりますので、その他のことに関しても、市民がこれができるということは、どんどん発信していきたいと思っております。

また、先ほど自治会がコミュニティの基礎であるという話がありましたが、本当にそう思っております。自治会長たちのスケジュールの多さ、傍聴席に自治会長がお越しなので一言。私たちは自治会長のみなさまに、コミュニティの核となる自治会を守っていただいているということで、本当に感謝申し上げたいと思っております。直接市長のお話を聞くのは初めてでした。市長のお話は上手いし、お考えも素晴らしいと思うので、お忙しいと思いますが、多くの市民の方が市長の話を聴く機会があればいいと思います。

今日は今市地区ということで、今市地区に住む住民といたしましては、日光ランドマーク構想ということで、まちの中が変わるものと期待をしております。今、市長のお話の中で、砂利道を挟んだ道の工事をするとかハード面でも変わるのとは分かったのですが、オアシスセンタービルの一番上にある子育て支援センターの評判がとてもいいのです。市民サービスセンターは撤退すると聞いていますが、子育て支援センターは継続できるのでしょうか。

健康福祉部長 今、子育て支援センターは、かましんの4階にあります。あのビルが今度建て替えるということで、新しいビルにフロアをお借りしまして、ビルの完成とともに移転する予定です。新しいビルが令和3年4月に完成予定ですので、その建設に合わせて移転するというので、現在予定しております。規模的には、同程度の規模を維持する予定です。

参加者 あれは民間委託ですか。

健康福祉部長 直営です。

参加者 今、親が虐待して死なせてしまったというような、狭い家庭の中での問題があるという中で、かなり救われる方もいると思います。ますますその事業が広まることをお願いしたいと思います。

健康福祉部長 子育て支援センターは、相談をしていただく場所でもございますし、実際の虐待の部分については、シルバー人材センター事務所の隣接地に家庭児童相談室がありまして、そちらと連携しながら対応するかたちになります。

参加者 虐待をするというのは、親にストレスがあつたりするからなので、子育て支援センターに行って人と会えば違うと思います。狭い中で子どもを育てているお母さん方のための、素晴らしいシステムだと思っておりますので応援しています。

参加者 大変な中で、市長をはじめ職員のみなさま方には、日々ご苦労されていることに感謝しております。学校教育におかれましても、ご指導のおかげで、子供たちも元気にすくすくと、学校に行くとあいさつも素晴らしいので、先生方の手厚いご指導のおかげだと感謝しております。今後ともよろしくお願いします。

参加者 職員の意識改革とありますが、性的マイノリティに対する職員の理解を高めるため、人権講演会の実施や新規採用職員研修に LGBT に関する項目を追加し、平成 31 年度から研修で実施と書いてありますが、私は昨年の 11 月の今市地区社会福祉協議会主催の性的マイノリティについてのセミナーを受講いたしました。講師は元女性で、男性になるまでの自分自身の経験をさらけ出してお話してくださいました。大変衝撃を受けたのですが、その講師の方は、これからも一人ひとりが自分らしく生きられる地域社会を目指して活動していくことを目標にしていますとのことでした。この職員の意識改革には、職員の理解を高めるためと書いてありますので、職員のみならず一般市民の方にも、こういった研修をやっていただきたいというのがお願いです。今朝も朝ドラの前にテレビを見ていたら、「写真に託すカミングアウト」という特集をやっていました。結構テレビを見ていますと、性的マイノリティに関する情報がやっていますので、皆さんが関心を持っているテーマだと思います。ぜひ取り上げていただければと思います。

2 点目なのですが、今年 12 月 1 日は 3 年に一度の民生委員の一斉改選があります。このところ改選では約 3 分の 1 の委員が退任しまして、委員の成り手の確保が課題となっております。日光市でも現在 4 名の欠員となっております。あと 5 カ月で改選ですので間に合いませんが、次回の改選までに行政の協力をお願いしまして、民生委員の選任候補を協力していただければと思います。今は自治会長に全部お任せしている状況です。自治会長はとてもお忙しい中で、全部お任せしているのは申し訳ないと考えておりますので、ぜひ協力をお願いできればと思っております。

健康福祉部長 1 点目の LGBT については、人権施策推進基本計画の中で、LGBT の正しい理解の普及を掲げています。具体的なことは申し上げられませんが、今後、LGBT に対する市民の理解を深め、偏見や差別をなくすような対策について、引き続き取り組んでいきたいと思っております。

2点目ですが、民生委員の改選が今年ございます。全国的にもそうなのですが、なかなか民生委員の成り手がいないということで、その対策について各自治体とも有効な解決策を見出せない状況にあります。民生委員の推薦にあたりましては、市にもご相談いただいて、市のほうでご協力できることがありましたら、その辺は連携しながら進めていきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願います。

参加者 例えば、民生委員推薦準備会という会をつくっている市もありますので、よろしく願います。

参加者 中心市街地の大通り、街路灯、屋外コンサート広場を設置していただくということでありがとうございます。これに向けて中心商店街として、ただ置いておくわけにはいかないので、今後の活用が課題になってくると思います。中心商店街には、やる気のある若者が結構いますが、金銭面で苦慮したりする部分もあります。そういう人たちの芽を摘まないように、補助金を含め、人的努力を今後ともお願いしたいと思っております。

2点目は納涼祭実行委員会で行っている花火大会の件ですが、実際のところ今市の花火は補助金集めに苦慮しています。商店街の人たちと商工会議所の人たちで組んで、1週間ぐらいかけて補助金を集めているのですが、今、どの企業も厳しいのです。去年より金額を下げしてほしいというのが実状です。努力してほしいということと言われたのですが、今後の努力は考えたいと思っておりますが、それに対して市から、こういうふうにしたほうがいいのか、協力や提案があればいいのかなと思っております。器の中でやっているところがありまして、大きく踏み出せない部分もあり、予算に苦慮しているところです。花火大会は市で人気のあるイベントなので、ぜひ続けていきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願います。

副市長 まず中心市街地の話で、日光市でも若い方がいろいろやったださっている方がいます。若い方たちに限らず、生業を起こす起業に対する支援や、市民団体に対するまちづくり活動の支援事業とか、メニューがいくつかあります。仮に市として支援制度があったとしても、その辺がよく周知されていなかったり、使い方を間違えてお知らせしてしまったということもありますので、極力、自治会長の力を借りながら、有効に使っていただければと思っております。そういったことでよろしく願いたいと思っております。

地域振興部長 今、副市長から話がありました市民活動団体支援の補助金ですが、今、ご指摘のあったような中心市街地の中で活動されている団体等については、いろいろ使われているところが多いです。やる内容を変えたり、団体をいろいろな視点から作り直したりしながら、今までも活用されてきましたし、現在も活用している事例が多いと思っております。

財政的な支援となると、どうしても限られてくることありますが、市の職員としてできることで言いますと、若手の職員がそういう人たちと一緒に取組んでいるようなこともあります。JCの賛助会員とかいろいろありますが、職員のマンパワーとしてのまちづくりに対する支援というものを、もう少し機運を盛り上げていける部分もあったらいいと捉えておりますので、よろしく願いたいと思っております。

観光経済部長 今市地域のまちなかにつきましては、中心市街地、特にイベント等につきましては、3年前に道の駅ができて、その支援をしているところです。今まではニコニコ本陣を中心としてイベントをやっていましたが、それだけでは厳しいだろうということで、株式会社オアシス今市にお願いしまして、今回お金を少しいただきました。その中で中心市街地の商店街や、若手の方が使えるようなイベントに使っていただくというこ

とで、500万円用意をさせていただいたところです。そういったものを活用していただく中で、特に使い道については、イベント実行委員会の中では規定はないと思っております。できるだけ周りの商店街にお客さんが寄っていただけるような使い道をしていただいたり、若手の方がやりたい事業があれば使っていただけるようにと、今回用意させていただいたこともありますので、どんどん活用していただければと思っております。

また、花火大会について厳しいというお話を聞いておりますが、市から毎年同じようなかたちで補助金を支出していると思います。そういったことで、そのお金を絞るということは、今のところ担当課としては考えておりません。商工会議所が主催でやっている事業になりますので、まちなかの元気を見せると言いますか、市民で分かち合うというイベントだと思っておりますので、できるだけ皆さんに汗をかいていただいて、それでもどうしてもというときは再度市のほうにご相談いただければ、市も汗をかかないわけではございませんので、一緒に歩いていきたいと思っております。

参加者 これから造っていく施設や道路については、まず運営していくお金ができるだけ少ない方向で造られるのだと思います。その中で道路なのですが、ラウンドサークルという交差点を聞いたことがありますか。信号がなくて、1つの方向に回りながら止まらないで済む交差点です。もちろん減速はすると思いますが、そういう方向に切り替えていくと、交通事故が減るのではないかと思っております。一度に全部とはいかないと思っておりますから、試験的につくりながら検証していただければいいなと思っております。

建設部長 只今ご提案頂いたお話は、ラウンドアバウトという言い方もある円形交差点のことですが、この交差点形状には大きな土地の利用が必要になってきます。既存交差点の改修には、建物移転等の課題も出てきますので、その辺も考慮しながら、必要な箇所を検討していきたいと思っております。

参加者 例えば、立体交差にするわけではないですから、それほどお金はかからないし、面積もかからないと聞いております。栃木県にはまだないようです。九州のほうでは造られているようです。止まらないということは、事故が起こらないということだと思います。左折や右折で起きる事故が多いので、そういうことも含めて、車の補助金よりは有効かなと思います。

参加者 公共施設マネジメント、合併、お金を使って、これから整理していく市長は非常に大変だと思います。計画のほうは早く発表して、いろいろ揉んでもらって、コンセンサスをとるかたちを取っていけばいいのかなと思います。たまたまその保育園、そのときに私は担当だったのですが、民間に委託しますといきなりぶつけて、2年頓挫してしまったのです。それから私が引き継ぎまして3年かけていろいろな議論をして、今度受ける民間の保育園の保育士を1年交流させるとか、いろいろなやり方がありました。ですからそんなに急がないで、よく理解していただいて、上手く引き継いでいただければと思います。

参加者 今市小学校の講堂をなくしたいという話が出ているのです。何回やっても同じようなことなのですが、予算の話は出ていませんか。

教育次長 今市小学校の講堂の話については、正式ということではないのですが、撤去するとかという話も、少しは伺っております。まだ、予算をどうするという話までは検討していないところなのですが、具体的になってくれば、もっと検討させていただきたいと思います。

参加者 懐かしいから壊してはいけないという話は、年配の方々からあります。

副市長 そこで剣道をやっていたり、スポーツの関係において利用が分散化されていると聞いたことがありまして、一部分に市役所の荷物を置かせてもらえますかと、無理なお願いをしたこともありました。そのときは使っているという話を聞いたのですが、今はどうなのかわからないのですが。

参加者 たまに使っているようです。ただ、危なくてほとんど使用できない状況です。

参加者 子供が今市小学校に通っているのですが、やはり壊したい派と残したい派があるらしくて、この前も学校に行ったとき使っていましたし、荷物を置いたりしています。車の乗り入れの関係で、講堂を壊して駐車場にしたいという話が出ているようです。危険性から考えたら危険だと思います。まったく使っていないというわけではありません。

副市長 そこは整理をさせていただきたいと思います。

参加者 1点目は、市長からもお話がありました獨協の森友への移転についてです。これは大変素晴らしいことだと思うので、スピーディにやっていただくことが私にはいいと思います。現在、日光市には病院が5つぐらいありますが、正直な話、不満があると思います。満足していないと思います。宇都宮の済生会、自治医大、壬生の獨協に行っている人もいます。流出しているわけです。そこを流入に変えていくためには、森友へしっかりした病院をつくることによって、矢板や那須、鹿沼の人たちが流入してくる体制づくりもさせていただきたいと思います。いろいろ難しいと思いますが、具体化へのスケジュールが全然見えません。もっと推進も図っていただきたい、世間に情報として流していただきたいと思います。

2点目は、私は根っからの栃木県人でもないし今市人でもないのですが、土地柄、保守的で従来やってきたことにこだわる、革新に対しては非常にアレルギーがこのまちにはあるのです。それでは、どんどん尻つぼみになっていくと思います。令和の時代に入りましたので、革新的な発想を市のほうも含めて、政治、経済、教育、文化、全部に亘ってしていくような流れを、市長自ら率先してお願いしたいと思います。例えば、世界遺産の二社一寺があるわけですが、はっきり言って東照宮のトイレは、いろいろ世界の方が来るわけですが、全然改善されていないのです。輪王寺は新しくトイレをつくりまして、非常に喜ばれているのですが、東照宮と二荒山のトイレは依然として新しくなっていません。世界の方たちが来るときは、人間の本来の問題でまずトイレなのです。たいしたお金ではないので、どう考えているのか、1つの例としてはそういうことです。

昔からの流れにこだわっていて、新しいものにチャレンジしていかない、長年の地元のムードがあります。それを令和時代は切り替えていって、世界的な視野で、どんどん世界から人が来ると思いますが、そういう人たちの視点でどうあるべきかという論点を、ぜひ考えていただきたいということをお願いします。

3点目は、まちなかに船村徹記念館などをつくったわけですが、商店街の方たちが燃えてこない、まちは活性化されないのです。その辺を市のほうからもお尻を叩いていただきたいと思います。新しいものにチャレンジしていく発想と動きがありませんので、お願いしたいと思います。人がどんどん集まって、まちを歩いていくというようなまちづくりを、ぜひ実現していただきたいと思います。

副市長 獨協に関しましては、獨協学園のほうの内部決定がなかなか進まなかったということがあります。スケジュール的にも後ろ倒しになってきているところも、現実にあります。意思決定がなされたこともありまして、これから建物を建てていくにあたっての、整備の基本計画は獨協の中で設けていくこととなります。そういったものが示されて、栃木県や市のほうからどういった支援や整備できるかというところを、あわせて協議していくことになっています。

市のほうは、用地の協力をするとなっていますが、用地自体が工業地域だったわけですから、その辺の整備というのも手順を踏んでいくこととなります。準備として何か停滞が生じているというわけではなくて、獨協の内部的な事情なので、そこはできる限り早く進められるように、今後も市として協力していきたいと思います。

参加者 民生委員の立場でお聞きしたいのですが、私たちは見守り活動をやっております、独居老人や老々家庭の二人暮らしを対象に見守りをしております。そこで、一番多い相談ごとが、運転免許の自主返納についての相談です。85歳を過ぎても運転しているおじいさんもいますので心配なのです。それに対して、返納した後のフォローはどのようなことを考えているか教えてください。一時的なタクシーと市内バスの利用券は助かるのですが、その後何もできなくなってしまいます。若い人から返納しなさいと度々言われているけれど、おばあさんが入院していて、そこまでも行けなくなってしまうという話もあるのです。小回りの利く小さな車でもいいから、定期的に走っていただければ、買い物や病院なども行けるという話を、最近耳にすることが多くなったので、その後のフォローをどのようにお考えなのかお聞きします。

市民環境部長 自動車の免許証返納につきましては、一時的ということではありますが、免許を返納された方に11,000円のタクシー券、バス利用券を交付しております。それは一時的なものでございますが、タクシー利用券といったものも継続的にということで、市長の公約にも入ってございまして、その辺をどのようにしていくか検討しているところでございます。それには財源が必要なので、財源を含めて検討しております。免許返納高齢者のバス利用についても、市営バスの利用促進を図らなければなりませんし、新たな公共交通の導入のほうも、公共交通網形成計画をつくっております、その中でどんなかたちが一番いいのか、現在検討しているところでございます。

ただ、地域によって、やり方とかは違うと思いますので、統一的なものではできないと思っております。今でもデマンドタクシーとか、デマンドバスが走っているところもありますので、そういったところも研究しながら、この地域に何がいかと検討している段階です。

参加者 私は今市小学校で育って、中学校まで今市だったのですが、その後東京とニューヨークに住んでおりました、昨年今市に戻って来ました。一番私がお聞きしたいのは、日光社寺の世界遺産サミットということが題材に載っておりましたので、その辺の進捗状況や、どのような状況なのか、私も仕事柄、フリーで通訳ガイドをし

ておりますので、その辺について教えてください。それから、英語教育の日光市の現状はどのようになっているのか伺います。

観光経済部長 今月の記者発表のときに、簡単な内容をご説明しようと思っていました。11月に開催するのですが、2日間に分けて行います。内容的には、1日目が分科会、2日目が世界遺産サミットということで、首長会議や記念講演を開催する予定です。これにつきましては、世界遺産を持っているところの市町村の首長や、関係団体の方が大勢いらっしゃいまして、その中で世界遺産を絡めた観光であったり、取り組みを確認して、お互いに盛り上げていくという内容でございます。外国の方がいらっしゃるかと、なかなか難しいところがありまして、今のところ海外の方は、多くはお出でいただけないと思います。主に国内の世界遺産を持っている市町村の集まりと、ご理解いただければと思います。

通訳に関しましては、ガイド部会というのがありまして、その中で民間のボランティアガイドの方等の協力がありますので、外国人の方が来て国際会議のようなものがあれば、通訳が必要になる場合もあります。東京オリンピック・パラリンピックが控えておりまして、海外の方が日光のほうに多くいらっしゃる事が想定されます。今後の対応の中で、そういった通訳できる方は必要になってくると思います。ご協力について検討させていただいて、もし必要があれば募集等をさせていただき、そういった事業に参加していただければと思っております。

教育長 日光市内の英語教育について、概要だけご説明させていただきます。来年度の新学習指導要領で小学校は3、4年生が英語活動、5、6年生が教科ということで進めますが、日光市は先行で、平成20年度から英語特区ということで、小学校全学年で英語活動を推進してまいりました。今度の改定にあたりましても先行実施ということで、すでに3、4年生の英語活動、5、6年生の外国語という教科での授業の取り組みをしております。市のほうでは臨時英語指導助手というかたちで、英語の堪能な方とか、英語の免許を持っている方とかを、市単独で10名程採用させていただいて、小学校のほうに担任と一緒に英語の教科にあたっていただいております。そのような体制で英語教育には力を入れております。

また今年度、子供たちに英検3級の資格を取ってもらおうということで、英検の受験者に対して助成をすることになりました。英語に対する関心を高めているという状況で、今、取り組んでいるところでございます。

参加者 小学校ではネイティブスピーカーの方はいないのですか。私が東京にいましたときには学校から頼まれて、外国からの帰国子女とか、日本語がわからない方がたくさんいたものですから、免許を持っているので校内の通訳をやっておりました。そのとき必ず米国人とかイギリス人の教師、ネイティブスピーカーも一緒にいるというかたちをとっておりました。日光市としては、向こうの母語を主とする、英語を主体に生きてきた人たちが来て、教えるということはないのですか。

教育長 ALTというかたちでは、各中学校区の拠点校に配置されておりまして、小学校のほうに出向いて、学校の規模や児童の数によって、訪問日数を計画的に決めさせていただいて、できるだけ多くの学校に訪問して、直接生の英語を聞く、会話するという時間をとっております。

市長 いろいろなご意見をいただきまして、ありがとうございます。保守と革新の話はいただきましたが、市政には継承と改革と言っております。頭が堅いと何を改めていいかというのが微妙なところになってくるとい

ますが、一番は職場の中の話をしてますが、いろいろな意見を言いやすい環境をつくるということが大切だと思います。若い人が市長に直接こんなことを言っているのかという空気をつくらなくて、いろいろ意見交換が常にできる状況、若い人と部長や課長がどんどん意見を出し合って、これはやめたほうがいいのではないのでしょうか、こういうものを取り入れてみたらどうでしょうか、そういう空気を、まずは役所の中からつくっていければなと思っています。同時に市民の皆様ともいろいろ意見交換をさせていただきながら、役所の職員も聞くだけではなくて、実はこうなのですというディスカッションも、自治会長や職員とやっていく中で、本当に暮らしやすいまちが見えてくると思います。

時代は非常に厳しい時代であります、今から 20、30 年後はどういう時代になっているか想像すると、今の若い人たちにとっては、これ以上に厳しい時代がくるかもしれない、その負担を少しでも減らして、次の世代にバトンを渡すために、我々の世代が今何をすべきかを肝に銘じて、しっかりと市政運営にあたっていきたいと思っています。自治会長をはじめ、ご参加の皆さまには、日頃から市政運営にいろいろとご尽力いただきまして、心より感謝を申し上げます。今後とも何とぞよろしくお願いいたします。